

盛岡ライオンズクラブ第1500回記念例会

2022.12.16・ホテルメロポリタン盛岡ニューウイング

盛岡ライオンズクラブが1500回例会

盛岡ライオンズクラブ（伊藤良正会長）は16日、記念の第1500回例会を盛岡市内のホテルで開いた。会員ら25人が出席し、さらなる活動（アクティビティ）の充実を誓った。同会は1960（昭和35）年、県内初のライオンズクラブとして創設。地域の奉仕活動に携り、課題解決に取り組んでいる。

中でも、1972年に旧玉山村藪川で完全給食の提供を実現させた「スズラン給食」は、へき地での無料給食の実践例として全国から注目を浴びた。国が全

ライオンズクラブ 第1500回



1500回の記念例会であいさつする伊藤会長

活動の原点を見詰め直した。

伊藤会長は「時代はどのように変わろうとも、そこに暮らす人々があり、地域社会がある以上、当会の奉仕活動が役に立てることがある。功績と伝統を守りながらウイサーブ（われわれは奉仕する）の精神のもと、さらなる発展を目指したい」とあいさつし、存在感のあるクラブを目標に掲げた。

第1500回例会記念事業として、NPO法人こどものみらいプロジェクトゆめドリへの支援を発表。クリスマス家族会も催され、会員らは親睦を深めていた。

額国庫予算で辺地校に学校給食を提供する土台となった。

記念例会では、スズラン給食を実施した当時の映像を振り返り、

盛岡タイムス掲載 2022.12.27・